| 学校番号 | 322 |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 文学国語 | 単位数 | 2 単位 | 年次 | 3 年次<br>（体育科） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新編文学国語」　（大修館） | | | | | | |
| 副教材等 | 国語知識　ミニマル 800　（エスト出版）、ニューフェイズ現代文Ⅱ（第一学習社） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主に文学的な文章を読み、社会・人間・自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにし、生涯にわたって読書に親しむ態度を形成することを目指します。
・扱う作品は多岐にわたり、様々な文学的な文章を読み深めます。
・家庭学習における課題については、考査ごとに提出を求めます。そのため、計画的に学習を進めていきましょう。さらに。板書事項だけでなく、気づいた点や気になった点を書きとめ、主体的に授業に参加するようにしましょう。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】
深く共感したり、豊かに想像したりして、読んだり、書いたりする基礎的な能力を醸成する。
【思考力、判断力、表現力等】
情景の豊かさや登場人物の心の機微を表す語句など、文学的文章における文体の特徴や修辞などの表現技法を理解することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、文章の内容を理解するとともに、作品の内容や形式について、書評を書いたり、自分の解釈や考えを基に議論したりすることができる。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 点観 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯読書に親しむ態度を養うため、基礎的な知識を獲得することができる。 | 文学的な文章における特徴や表現技法についての理解を深め、書評や批評文、照会文を書くことができる。 | 近代以降の文学的な文章だけでなく、古典における文学的な文章や近代以降の文語的文等多種多様な文学的な文章を読み、豊かに想像することができる。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 俳句や短歌に親しむ<br>［教材］<br>俳句を作ろう<br>川柳を作ろう | a:文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法について体系的に理解し、使用している。<br>b[　書　]:文体の特徴や修辞の働きなどを考えて、読み手を引き付ける独創的な文意になるように工夫している。<br>c:さまざまな出来事や心情、情景を俳句や川柳の形式で印象的に表現することに興味を持ち、進んで創作活動に取り組もうとしてる。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>提出物<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 古典における文学的文章を読み、現代の心理の異同について学ぶとともに、正しく、古典的文章を読む力を養う。<br>［教材］<br>「四面楚歌」史記<br>「若紫:源氏物語 | a:古典文法や古典常識を踏まえ、正しく古典における文学的文章を読むことができる。<br>b[　読　]:古典における文学的文章を正しく読解したうえで、現代との心情の異同について深く吟味し、伝え合うことができる。<br>c:古典における文学的文章を深く読解することができる。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>提出物<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| 二学期 | 時代背景や登場人物の視点や表現の特色に着目し、自らの考えと比較しながら読解を深める。<br>［教材］<br>「待合室」内海隆一郎<br>「おぼろ月」藤沢周平 | a:文学的文章の読み方を理解し、内容を正しく読解することができる。<br>b[　読　]:時代背景や登場人物の視点や生き方、表現の特色に注意しながら読むことができる。<br>c:登場人物の考え方を捉え、自らの考えと比較しながら自分の考えを広げることができる。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>提出物<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 文学的文章の名作を読み、場面展開や心情・情景描写を読み取るとともに、作品の感想を共有し、伝え合う。<br>［教材］<br>「山椒魚」 井伏鱒二 | a:文学的文章の名作を読み、作品に用いられている様々な表現技法について理解を深めることができる。<br>b[　読　]:作品の感想を、登場人物や作者の心情に言及しながら伝え合うことができる。<br>c:他の文学的文章の作品に触れ、名作と呼ばれる作品に共通する文学的価値について理解を深めることできる。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>提出物<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| 三学期 | 文学を生み出す<br>［教材］<br>「タイムリミット」朝井リョウ | a:文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法について、体系的に理解し、使用することができる。<br>b[　書　]:文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉えなおしたりしている。<br>c:作品を創作することに興味を持ち、構成や展開・表現技法などを工夫しながら、書くことに取り組もうとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>提出物<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　20　）時間

・読むこと　…　（　50　）時間